

令和元年度 決算について

大和証券グループ健康保険組合の令和元年度決算と事業報告が7月15日に開催された組合会において可決、承認されました。

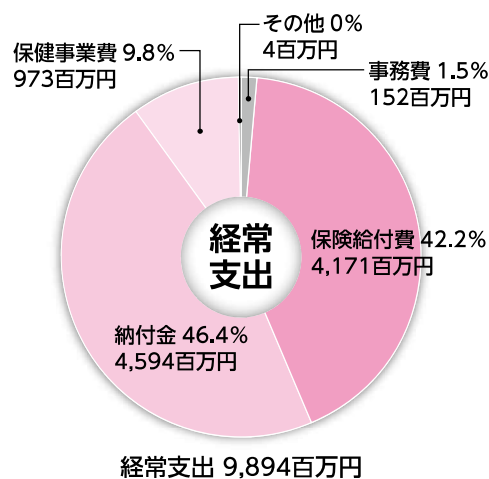
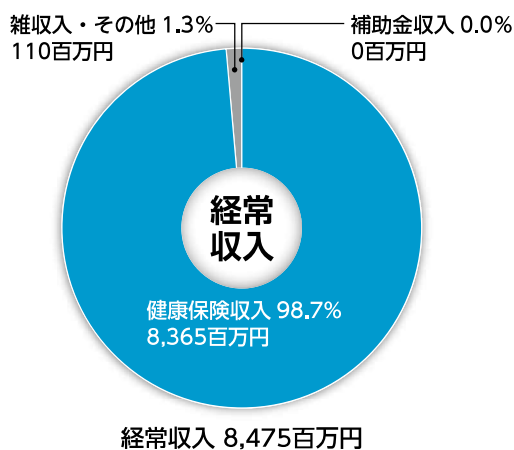


健康保険

令和元年度の経常収入は、昨年度から減少して84.8億円でした。一方、経常支出は2億円増加となり、およそ14.2億円の赤字となりました。増加したのは、高齢者医療への支援金・納付金が前年度比1.3億円増加したためです。また、定期健診を人間ドックと一本化したことから、保健事業費が収入支出ともに約1億円増加しました。現在は、積立金からの補てんで対応できますが、今後も納付金が増加する見通しであるため、今後、保険料の引き上げが必要と想定されます。当健保では、引き続き財務の健全性に十分留意しながら運営に努めてまいります。

また、今後も事業主・総合健康開発センターと連携を図りながら、効果的な保健事業を計画しています。ぜひ、積極的に健診受診、イベントなどご参加ください。

【健康保険決算の内訳】



介護保険

介護保険は、収入908百万円に対し納付金が922百万円でしたので、準備金からの補てん(繰入金)で対応をしました。令和元年度も保険料率の改定を行いましたが、制度変更に伴う介護保険料率の変更は、令和2年度も行っています。

(単位:百万円)

収入		支出	
介護保険収入	908	介護納付金	922
繰越金	92	介護保険料還付金	0
繰入金	50		
合計	1050	合計	922